

ORICON

2012年3月期 第1四半期決算説明会

2011年8月5日

2012年3月期 第1四半期決算の概要

震災の影響により、広告販売において一時的な機会損失を受けたものの、スマートフォンに対応する先行投資を継続して実施し、成果が出始めた。

前年同期は、税効果会計の適用により、税金費用が抑えられていたが、前連結会計年度末で課税所得と相殺可能な繰越欠損金が無くなり、当四半期より法定実効税率並みになった。

- | | |
|---------------|---|
| 5月 1日 | ユニバーサル・スタジオ・ジャパンとの初のコラボイベントを開催 |
| 5月10日 | 「オリコンアプリランキング」の iPhone 版アプリを提供開始 |
| 6月 1日 | 「オリコン顧客満足度(CS)ランキング連動型広告」のジャンルを追加
(ウォーターサーバー・住宅ローン) |
| 6月17日 | 「オリコンアプリランキング」をソフトバンクモバイルに提供開始 |
| 6月17日 | 雑誌「オリ★スタ」のスマートフォン向けアプリを無料で提供開始 |
| 6月23日 | 音楽配信サービスアプリ「オリコンスタイル」がプリインストールされたサムスン社製スマートフォン GALAXY S II が NTTドコモより発売開始 |
| 7月 8日 | 雑誌「オリ★スタ」を大幅リニューアル、ネット通販への対応を強化 |
| 7月27日 | 「オリコンアプリランキング」を大幅リニューアル、アプリのダウンロードによってユーザーにポイントを付与する機能を追加 |
| 8月 7日
(予定) | 「オリコンアプリランキング」のアプリがプリインストールされた富士通社製スマートフォン F-12C が NTTドコモより発売開始 |

- スマートフォンへの対応(プリインストール、リニューアルなど)を積極的に推進
⇒先行投資に伴う人員増により、前年同期と比べ労務費・人件費が23百万円増加
- 東日本大震災によってキャンペーンが延期・中止されたため、キャンペーンに依存した広告の販売において一時的な機会損失が発生(15百万円)
- 顧客満足度(CS)ランキング連動型広告は、震災の影響をほぼ受けず、堅調に推移
- 着メロと着うたは、市場の縮小に伴って、売上が減少。一方、着うたフルは、前年同期および直前四半期と比べ、横ばいから微増で推移
- データサービス事業は、放送局向けのデータ販売が回復。「ORICON BiZ online」も着実にストック型の売上をアップ
- 当四半期より税金費用が法定実効税率並みになったため、四半期純利益の減少率が経常利益の減少率より大きくなった

売上高	:	1,630百万円(前年同期比 0.5%減)
営業利益	:	231百万円(前年同期比 7.2%減)
経常利益	:	203百万円(前年同期比11.2%減)
四半期純利益	:	113百万円(前年同期比24.7%減)

連結損益計算書



(単位:百万円)	11年3月期 第1四半期	12年3月期 第1四半期	増減	
			金額	増減率
売上高	1,639 (100%)	1,630 (100%)	▲8	▲0.5%
売上原価	976 (59.6%)	970 (59.5%)	▲6	▲0.6%
差引売上総利益	662 (40.4%)	660 (40.5%)	▲2	▲0.3%
販管費	412 (25.2%)	428 (26.3%)	15	3.8%
営業利益	249 (15.2%)	231 (14.2%)	▲17	▲7.2%
経常利益	229 (14.0%)	203 (12.5%)	▲25	▲11.2%
税金等調整前 四半期純利益	229 (14.0%)	206 (12.6%)	▲23	▲10.3%
四半期純利益	151 (9.2%)	113 (7.0%)	▲37	▲24.7%

増収要因

- ・WEB事業[28百万円増(12.8%増)]
⇒震災による一時的な機会損失15百万円が発生
- ・データサービス事業[13百万円増(8.4%増)]
- ・着うたフル[13百万円増(2.1%増)]

減収要因

- ・着うた[28百万円減(20.9%減)]
- ・着メロ[21百万円減(17.4%減)]
- ・雑誌事業[10百万円(3.2%減)]

スマートフォン対応などの先行投資に伴って人員増
[前年同期末比9名増(208名→217名)]
⇒労務費及び人件費が23百万円増加

支払利息は減少したが、前年同期に発生しなかった一時的なコンサルティングに関わる費用が今期において発生するなど、営業外費用が増加。

⇒経常利益の減少率が営業利益と比べて大きくなった。

前年同期には税効果会計の適用により、税務上発生した繰越欠損金が税金費用を抑えていたが、前連結会計年度末で課税所得と相殺可能な繰越欠損金がなくなり、今期においては税金費用が、法定実効税率並みになった。
⇒四半期純利益の減少率が経常利益と比して大きくなった。

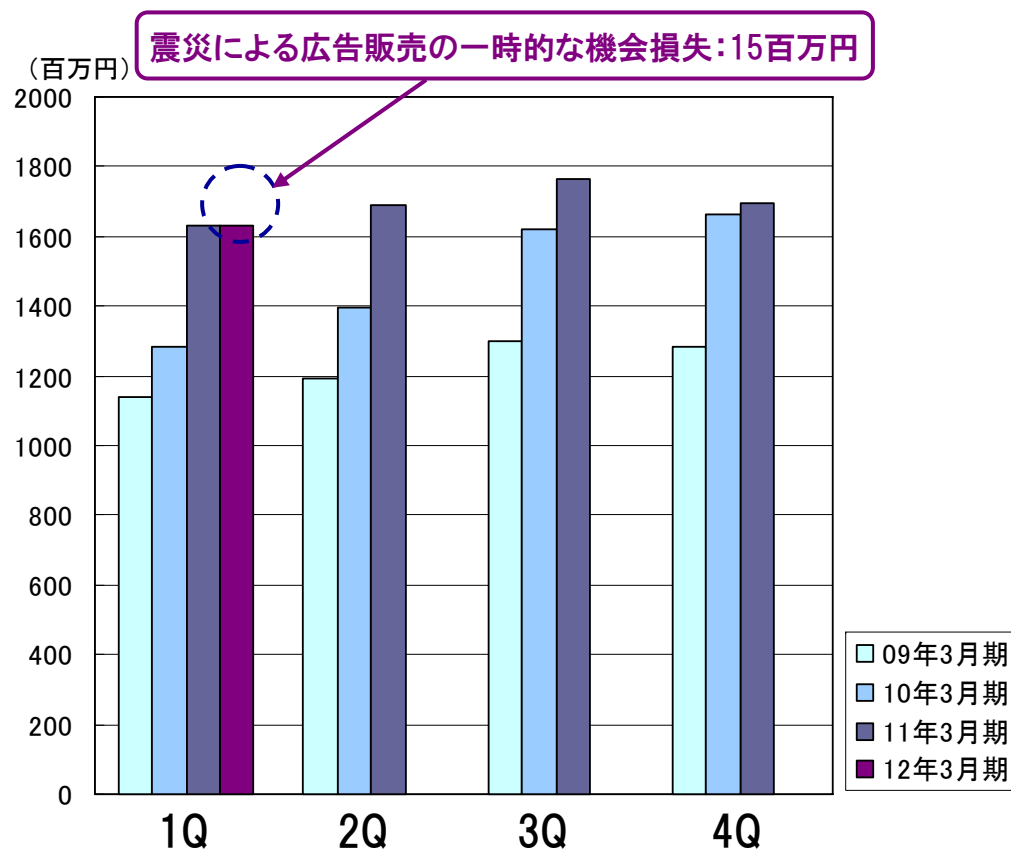
セグメント別売上高



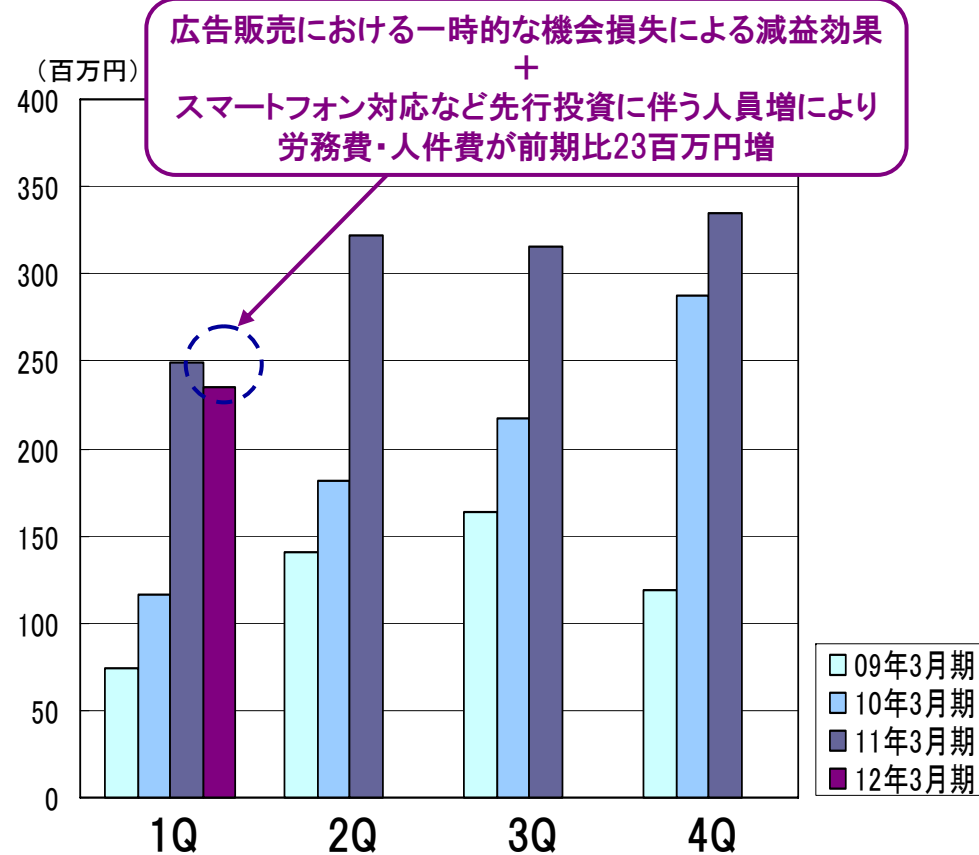
(単位:百万円、百万円未満を切捨て)	2011年3月期 第1四半期	2012年3月期 第1四半期	増減	
			金額	増減率
WEB事業	223	251	28	12.8%
CSランキング連動型広告の販売	95	107	11	12.2%
その他の売上*	128	144	16	12.5%
モバイル事業	928	891	▲37	▲4.0%
着メロ	119	98	▲21	▲17.4%
着うた	132	104	▲28	▲20.9%
着うたフル	640	653	13	2.1%
情報系	37	32	▲4	▲12.4
スマートフォン関連	0	2	2	—
雑誌事業	328	317	▲10	▲3.2%
データサービス事業	156	169	13	8.4%
その他	2	0	▲2	▲100%
売上高合計	1,639	1,630	▲8	▲0.5%

※2012年3月期第1四半期においては、東日本大震災の影響による一時的な機会損失として15百万円が発生

売上高



営業利益



※2009年3月期については、連結除外となったORICON CNS Inc. とフランクリン・ミント株式会社の数値を除いております。

業績予想に対する進捗率



		第1四半期 実績値 (A)	第2四半期累計期間		通期		
			今期: 予想値 前期: 実績値 (B)	進捗率 (A/B)	今期: 予想値 前期: 実績値 (C)	進捗率 (A/C)	
(単位: 百万円)							
売上高	今期	1,630	3,340	48.8%	7,060	23.1%	
	前期	1,639	3,330	49.2%	6,790	24.1%	
営業利益	今期	231	460	50.2%	1,250	18.4%	
	前期	249	573	43.5%	1,222	20.3%	
経常利益	今期	203	410	49.5%	1,160	17.5%	
	前期	229	548	41.8%	1,146	20.0%	

※今期の「予想値」は、2011年5月9日に公表した数値

連結貸借対照表



(単位:百万円)	2011年3月期末	2012年3月期 第1四半期末	増減
資産合計	5,060	5,261	201
流動資産	2,802	3,004	201
有形固定資産	315	313	▲2
無形固定資産	1,006	986	▲19
投資その他の資産	929	952	22
繰延資産	6	5	0
負債合計	2,890	3,104	213
流動負債	1,793	2,011	217
固定負債	1,097	1,092	▲4
純資産合計	2,169	2,157	▲11
株主資本	1,865	1,848	▲16
その他の包括利益累計額	▲17	▲17	0
新株予約権	▲5	▲4	▲1
少数株主持分	326	331	4

- 流動負債の増加は、短期借入金が350百万円増加したことが主な要因。これに伴って、現金及び預金が増加し、流動資産が増加。
- 純資産については、四半期純利益113百万円を計上したものの、配当金126百万円の支払があったため減少。

オリコングループのスマートフォン戦略について

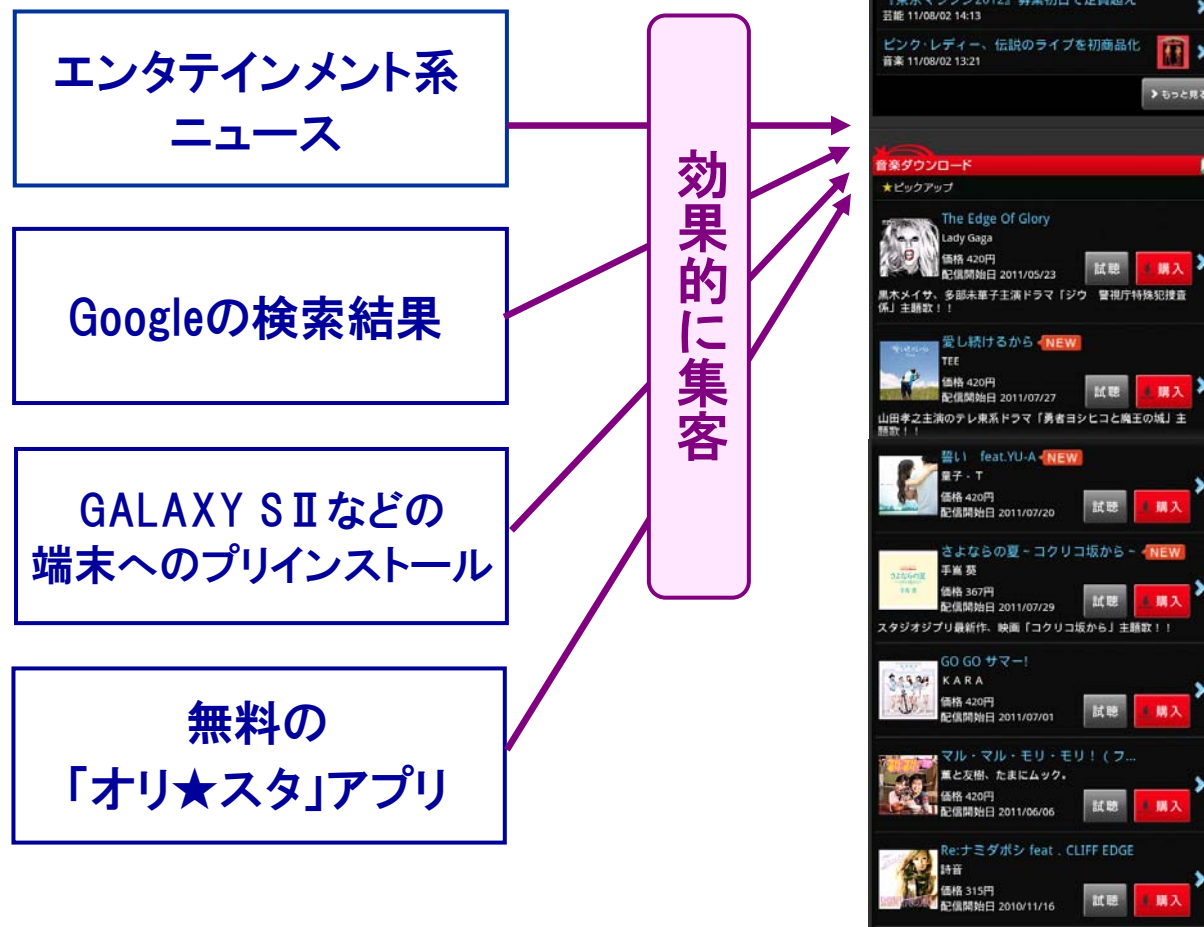
- (1)** スマートフォン向け音楽配信サービスでトップクラスの
ポジションを獲得する
⇒音楽配信サービス「オリコンスタイル」
- (2)** スマートフォンにおける広告メディアとして、アプリを
ダウンロードさせるNo.1のメディアになる
⇒「オリコンアプリランキング」
- (3)** 最大の閲覧者数を擁する無料の電子書籍を提供する
⇒「オリ★スタ」アプリ

(1) 音楽配信サービス ①

- 本年3月末時点で1キャリア1機種のみに対応だったが、対応端末の拡充を図り、現在、3キャリア18機種まで増加
- 配信楽曲を一層充実させるべく、各レコードレーベルとの交渉を継続的に実施
- 6月23日、音楽配信アプリ「オリコンスタイル」をプリインストールしたサムスン電子社製の新機種「GALAXY S II」がNTTドコモより発売開始
⇒ 現在、順調にダウンロードが伸びている状況
- ユーザーの利便性と満足度を高めるため、デザイン(ユーザーインターフェイス)を一新し、コンテンツと機能を拡充するリニューアルを準備中



(1) 音楽配信サービス ②



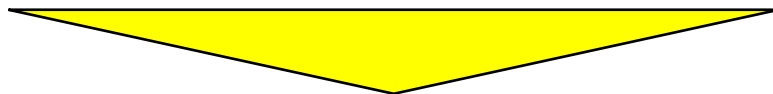
効率良く楽曲を
ダウンロード

他社にないユニークな
集客導線を最大限活用し、
スマートフォン向け音楽配信
市場で高いシェアの獲得を
目指しています。
⇒下期より本格的に
収益貢献を開始。

(2)「オリコンアプリランキング」①



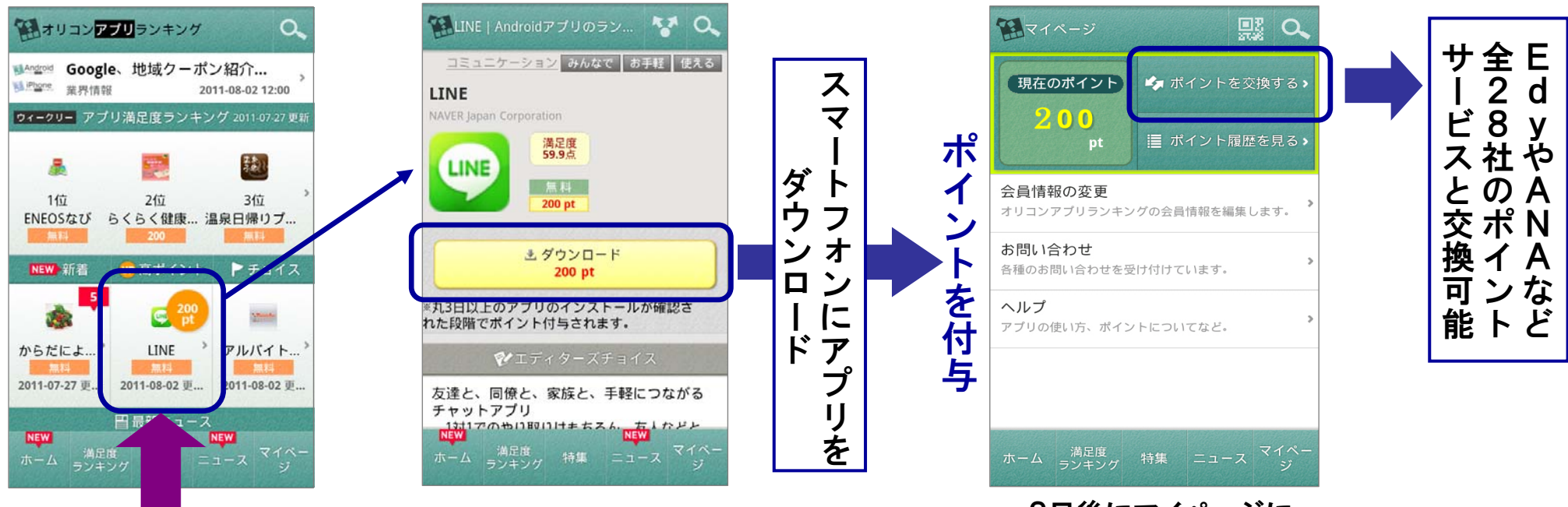
- 本年2月より「オリコンアプリランキング」のアプリを Android携帯電話向けに提供開始。
5月からは iPhone 向けにも提供を開始
- 6月17日より、ソフトバンクモバイルに「オリコンアプリランキング」をコンテンツとして提供を開始
- 現在、「オリコンアプリランキング」を經由して毎日、1万個強のアプリがスマートフォンにダウンロードされている状況。月間で40万個を超えるペースに短期間で成長
⇒しかし、アプリのダウンロードを直接、マネタイズすることが出来ない状況(だった)



7月27日

アプリをダウンロードするとユーザーにポイントが付与される機能を追加するなど、大幅なリニューアルを実施

(2)「オリコンアプリランキング」②



クライアントに広告商品としてポイントを販売
無料アプリ:最大400ポイントまで付与可能
有料アプリ:最大で提供価格の20%まで付与可能

アプリを効率良くダウンロードさせることのできるメディアとして成長させ、収益を最大化

(2)「オリコンアプリランキング」③



(3) 雑誌「オリ★スタ」&「オリ★スタ」アプリ ①



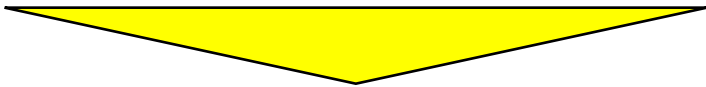
(参考)

文教堂「総合週刊誌ランキング」

2011年7月25日付 **1位**

8月1日付 **5位**

- 継続的に誌面の拡充を行っていることが奏功し、購読部数が増加
⇒ 第1四半期の購読売上は、前年同期比7.5%アップ
- 7月8日発売号より、従来の“中綴じ”から“平綴じ”に変更するなど保存性と高級感を高める大幅なリニューアルを実施
⇒ リニューアルに伴い、定価を従来の300円台から400円台にアップ



定価が400円以上になったため、
アマゾンや楽天ブックスでの
定期的な購入が可能に

(従来は、年末年始やGWの合併号のみ対応)

ネット通販を強化!

(3) 雑誌「オリ★スタ」&「オリ★スタ」アプリ ②

6月17日

雑誌「オリ★スタ」の全ページを閲覧できる無料アプリをAndroid携帯電話向けに提供を開始

⇒近々に発売開始になるAndroid携帯電話の新機種に「オリ★スタ」アプリがプリインストール

アプリで写真や記事を見て、「雑誌を買いたい!」と思ったら、“ワンタップ”でネット通販サイトに誘導され、手軽に雑誌の購入が可能

⇒無料で情報公開を行い、有料購読に誘導するいわゆる『フリーミアム戦略』

「オリ★スタ」アプリを広告メディアとしても活性化。さらに、スマートフォンにおける音楽配信サービスやファッション系Eコマースのプラットフォームとしても機能させ、収益の最大化を図ってまいります。



※許諾が得られていない一部の画像についてはマスキング処理が施されています。

この資料に掲載されている今後の戦略・見通し等に関わる情報は、本資料の作成時点において、当社が合理的に入手可能な情報に基づき、通常予測し得る範囲内で為した判断に基づくものです。しかしながら現実には、通常予測しえないような特別事情の発生または通常予測しえないような結果の発生等により、本資料記載の見通しとは異なる結果を生じ得るリスクを含んでおります。

当社といたしましては、投資家の皆様にとって重要と考えられるような情報について、その積極的な開示に努めて参りますが、本資料記載の見通し等のみに全面的に依拠してご判断されることはくれぐれもお控えになられるようお願いいたします。

※ iPhone は、Apple Inc. の商標または登録商標です。

※ Android は、Google Inc. の商標または登録商標です。

※ 着うた、着うたフルは、株式会社ソニー・ミュージックエンタテインメントの登録商標です。

※ その他記載されている製品名、サービス名などは、該当する各社の商標または登録商標です。

オリコン株式会社

IR用ホームページ

<http://www.oricon.jp/>